

## 6. 仮設工事

2回以上繰り返し出題のある内容で重要と判断した項目を抽出した。

### (1) 安全係数

- ・つり足場については、つりチェーン及びつりフックの安全係数が**5**以上になるように計画した。
- ・つりワイヤロープの安全係数は、**10**とする。
- ・玉掛けワイヤロープは、安全係数が**6**のものを使用する。

表 つり部材の安全係数

名称	安全係数
つりワイヤロープ	10以上
つりチェーン、つりフック	5以上
玉掛けワイヤロープ	6以上
くい打機の巻上げワイヤロープ	6以上
台付けワイヤロープ	4以上

### (2) 手すり

- ・高さ2m以上の位置に設けた作業床において、墜落のおそれのある箇所には、**高さ75cm**の手すりを設けた。
- ・**足場の作業床**の外側には、床面からの高さ15cmの幅木(つま先板)及び床面からの高さ95cmの手すりを設けた。
- ・鉄骨上に設けた材料置場と外足場とを連絡するための**仮設通路の幅**は、手すりの内側で60cmとした。

### (3) 防護棚(朝顔)

- ・防護棚(朝顔)のはね出し材の突き出し長さは**2m**とし、水平面となす角度は**30度**とした。
- ・防護棚(朝顔)は、1段目を地上5mに設け、2段目以上については下段から**10mごと**に設けた。

### (4) 枠組足場

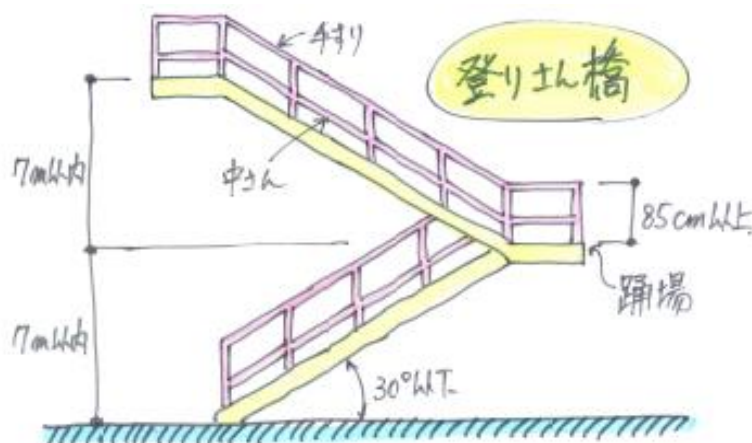
- ・枠組足場の壁つなぎ又は控えは、垂直方向**8m**、水平方向**7m**の間隔で設けた。

### (5) 作業床

- ・つり足場の作業床については、幅を40cmとし、かつ、**隙間がない**ように設置した。
- ・高さが2mの作業構台は、作業床の床材間の隙間を**3cm以下**とする。

### (6) 登りさん橋

- ・登りさん橋は、勾配を**30度以下**とし、高さ8m以上の場合には**7m以内**ごとに踊場を設ける。



## (7) 落下物の防護

- 落下物に対する防護のための**工事用シート**の取り付けは、足場に水平支持材を垂直方向5.5mごとに設け、シートの周囲を40cmの間隔で、隙間及びたるみがないように足場に緊結した。
- 落下物に対する防護のための**メッシュシート**は、垂直支持材を水平方向4m以下ごとに設ける。

## (8) 単管足場

- 単管足場における壁つなぎの間隔は、垂直方向**5m**、水平方向**5.5m**とした。

## (9) パイプサポート

- パイプサポートは、3本以上継いで用いては**ならない**。
- 支柱の高さが3.5mの型枠支保工において、**2本**のパイプサポートを4本のボルトを用いて継いだものを支柱とした。

## (10) 単管足場の荷重

- 鋼管規格に適合する単管足場の建地間の**最大積載荷重**を、400kgと表示した。